

9.世界史を楽しく学ぶ科 (2024年度)講座番号9
(木曜日 授業予定表) 講師:同志社大学・大阪大学・他

					午 前			午 後		
回	月	日	曜日	講座数	テーマ	内 容	講 師 名	テーマ	内 容	
1 学 期	1	8	月	①	①入 学 式 & オリエンテーション (合同、大阪国際会議場)					
	2	4	18	木	1	人類の拡散と海	モンゴロイドの「大航海時代」	富田暁 (岡山大学客員研究員)	自己紹介、年間学習・行事予定等の説明 クラスオリエンテーション	
	3		25	木	2	海のシルクロード	モンスーンが繋ぐ世界	富田暁 (岡山大学客員研究員)	高大オリエンテーション 終了後班役割説明・班各担当・班長決定	
	4		16	木	3	ギリシャ・ヘレニズム	アレクサンドロスの先駆者と、影を追う王たち	柴田広志 (佛教大学非常勤講師)	自主活動	各担当別会議(代表者決定他)
	5	5	23	木	4	東西ローマ世界	多神教から一神教に変容する地中海世界	柴田広志 (佛教大学非常勤講師)	〃	クラス委員長決定、第1回遠足行先検討
	6		30	木	5	東アジアのなかの古代朝鮮	「中華」の誕生と古代朝鮮	赤羽奈津子 (龍谷大学非常勤講師)	〃	
	7		6	木	6	東アジアのなかの古代日本	遣隋使はなぜ派遣されたのか?	赤羽奈津子 (龍谷大学非常勤講師)	②社会への参加活動(準備活動)(活動事例研究)	
	9	6	13	木	7	唐とシルクロード	唐帝国の本当の「強さ」とは?	猪原達生 (同志社大学非常勤講師)	自主活動	
	10		20	木	8	東部ユーラシア世界の展開	共存と繁栄の時代	遠藤総史(日本学術振興会特別研究員)	〃	
	11		27	木	③★	③遠 足				
	12		4	木	9	遊牧民と中央ユーラシア	草原世界の暮らしと古代遊牧国家	旗手瞳(日本学術振興会特別研究員)	自主活動	
	13	7	11	木	10	モンゴル帝国	モンゴルは、いかに世界帝国を作り上げたか	旗手瞳(日本学術振興会特別研究員)	〃	
	14		18	木	11	中世ヨーロッパとカトリック世界	西欧文明の中核をなすものとは?	石坂尚武 (同志社大学名誉教授)	〃	一学期成果発表(各班ごと)
		8				夏 休 み				
2 学 期	15	9	19	木	12	大航海時代	そのときインドは何してたん?	向正樹 (同志社大学准教授)	自主活動	健康まつり説明 参加対応検討
	16		26	木	13	初期グローバル化と近世	ペストから見る近世	石坂尚武 (同志社大学名誉教授)	〃	
	17		10	木	14	東南アジアの近世	交易の時代と「伝統」東南アジアの成立	遠藤総史(日本学術振興会特別研究員)	〃	
	18	10	16	水	④	④コーデイ健康まつり(服部緑地陸上競技場)				
	19		24	木	15	東アジアの近世	「大きな中国」か、「小さな中国」か	猪原達生 (同志社大学非常勤講師)	自主活動	
	20		31	木	16	イスラームの成立と発展1	新しい世界の形成—共同体から帝国へ—	堀井優 (同志社大学教授)	〃	
	21		13	水	⑤	⑤コーデイフェスタ(豊中市立文化芸術センター)				
	22	11	21	木	17	イスラームの成立と発展2	再編される世界—オスマン帝国とアラブ地域—	堀井優 (同志社大学教授)	自主活動	
	23		28	木	18	東アジア海上世界の形成	中国の経済発展、社会変化との構造的関係	濱島敦俊 (大阪大学名誉教授)	〃	
	24		5	木	19	東アジアのなかの台湾	東アジア海上世界形成の一つの果実	濱島敦俊 (大阪大学名誉教授)	自主活動	
25	12	12	木	20	東南アジアの植民地化	宗主国は植民地に「良いこと」もした(残した)のか?	富田暁 (岡山大学客員研究員)	〃		
26		19	木	21	自主企画講座					
					冬 休 み					
3 学 期	27		9	木	22	19世紀末の世界史における分岐点	①社会革命(=フランス革命) ②経済革命(=産業革命)	杉本宗子 (神戸大学)	自主活動	成果発表会内容検討
	28	1	16	木	⑥	⑥社会への参加活動・・・(仮日程;1学期～3学期の間に活動日を1回設定)				
	29		23	木	23	ヨーロッパ諸国の革命運動から誕生した新しい政治秩序	①国境変更と新しい統一形成 ②現在ロシアがウクライナを侵襲する礎をクリミア戦争から推測	杉本宗子 (神戸大学)	〃	成果発表会準備
	30		6	木	24	アメリカ合衆国の誕生	植民地から覇権国への道のり	安井倫子 (大阪大学)	〃	成果発表会準備
	31	2	13	木	25	グローバル化の中で	移動する人・もの・情報を管理したい国務	安井倫子 (大阪大学)	〃	成果発表会準備
	32		20	木	26	学習成果発表会				
	33				⑦	⑦修了式				
	34	3	6	木	⑧	⑧・⑨卒業旅行(1泊2日)				
	35		7	金	⑨					
授 業(自主企画、成果発表会含む)						26(講座数列1～26)				
学 習 事 業 (① ～ ⑨)						9(講座数列①～⑨)			2024.03.20改訂	
合 計						35				

注) 1. 日程、カリキュラム内容等は、都合により変更になる場合があります。